

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスとんぼく田宮校		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 11日		2026年 3月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31人	(回答者数) 12人
○従業者評価実施期間	2026年 3月 1日		2026年 3月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3人	(回答者数) 3人
○事業者向け自己評価表作成日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画に基づいた支援が適切に行われており、子どもの特性に応じた専門性のある支援が提供されている点について高い評価を得ている。また、職員の対応や共感的な関わり、安全管理体制についても信頼が高く、子どもが安心して通所できている点が強みである。	子どもの特性や発達段階に応じた個別支援計画を作成し、保護者への説明や日々の情報共有を通して共通理解を図るよう努めている。また、安心して通所できる環境づくりや、安全面への配慮を意識し、保護者との信頼関係の構築に取り組んでいる。	現在評価されている個別支援の質や職員の対応力をさらに高めるため、保護者へのフィードバックの機会を増やし、支援内容の見える化を図る。また、日々の様子や成長の過程をより分かりやすく伝えることで、保護者との連携を一層強化していく。
2	支援前後の打合せや日々の情報共有、記録の徹底などにより、職員間での連携が図られており、支援の質の維持・向上に繋がっている。また、個別支援計画の作成・見直しや活動プログラムの工夫が組織的に行われている点が強みである。	支援開始前後の打合せや日々の記録の徹底により、職員間での情報共有と振り返りを行い、支援の質の向上に繋がっている。また、活動プログラムが固定化しないようチームで検討し、子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせるなど、柔軟な支援を意識して実施している。	職員間での情報共有や振り返りの体制をさらに強化し、支援の質の向上と標準化を図る。また、研修機会の充実や外部機関との連携を進めることで、専門性の向上と支援の幅を広げていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者支援(面談・助言・交流機会)について「どちらともいえない」「わからない」の回答が見られ、実施や周知が十分でない可能性がある。また、地域交流や外部との関わりについても認識にばらつきがあり、取組または情報発信に課題がある。	保護者支援や地域交流について、実施機会の不足に加え、情報発信が十分でないため、取組が保護者に伝わっていないことが要因と考えられる。	保護者面談や交流機会を計画的に実施するとともに、活動内容や支援状況を定期的に発信し、保護者への周知と理解を深める。
2	地域交流や外部連携の機会が限定的であり、体制整備に課題がある。また、医療機関との連携についても強化が必要である。	地域交流や外部連携について、計画的な実施体制が整っていないこと、また医療機関との連携機会が限られていることが要因と考えられる。	地域交流や外部機関との連携を計画的に実施し、医療機関との連携体制を整備することで、支援の幅の拡大を図る。
3			